

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

8月号 2018. 8. 1

発行：千葉骨髓バンク推進連絡会
〒267-0054 千葉市緑区大高町 18-37 北村方
TEL/FAX 043-497-5083
<http://www.marrows.or.jp/chiba/>

2回目の骨髓提供体験とドナー助成制度申請手続き

この度2回目の骨髓提供をしました。7年前に1回目の提供をした時は適合通知が届いてから手術日まで常に緊張の日々でしたが、今回はコーディネーターさんも前回と同じ人で、主治医も骨髓提供を体験したという先生だったので、落ち着いて提供まで過ごすことが出来ました。術後の痛みもほとんどありませんでした。提供後しばらくして頂いたお礼状で、患者さんは未就学児ということが分かりました。拒絶反応や感染症に負けないで元気になってもらいたいと思います。

自分の住んでいる市にはドナー支援事業があり、ドナー本人と職場に対して奨励金が交付されます。市のホームページから申請書をダウンロードし簡単に申請することが出来ました。県内ではまだ3割ほどの自治体しか助成金制度がないということで、早くすべての自治体で取り入れてもらいたいと思います。自分の職場では責任者も応援してくれ、若い同僚は「子供に手がかからなくなったら自分も骨髓バンクに登録する」と言ってくれました。私はもう提供はできませんが、後は若い人に頑張ってもらいたいと思います。（山本弘之）

啓発活動

青葉の森リレーマラソン 5月20日（日）

5月20日（日）、千葉県立青葉の森公園で開かれる「第16回千葉・青葉の森リレーマラソン」に千葉大学病院血液内科の先生や看護師らスタッフが「骨髓バンク」のたすきをつけて参加するとの情報を聞きつけ、当会メンバーも応援に伺うことになりました。このマラソンは1周約2キロのコースを5以上10人以内で42.195キロ、タスキリレーして完走するルールです。

当会はタスキ受け渡しのさくら山広場と、中間地点の青葉が池付近で「チーム竹田」と「そうだ！献血行こう！」のチーム名を記した手作り応援ボードと骨髓バンクのぼりを持って声がけしながら応援。新緑で美しい公園内を力走する、ちびっ子やお玉を持ったエプロン姿のランナーらにも声援を送りつつ、バンクのぼりをはためかせ、ちゃっかり啓発活動となりました。

10時スタートから3時間半ほどを過ぎた頃に2チームとも無事にゴール。メンバー全員での記念撮影後に応援ボードも贈呈し、無事終了となりました。

日々患者さんの為に尽力くださる先生方を逆に応援できた楽しいひと時と、多くの参加者にバンクのぼりで活動を知ってもらったことに感謝いたします。（黒川）



骨髓バンクチャリティ「コンサートと落語会」予告

昨年に続き下記内容で開催準備を進めています。会員の皆様の前年以上のご協力をお願いします。

場所：成田市文化芸術センター 3階 スカイトウンホール

日時：平成30年11月10日（土）

11:00～ 成田山新勝寺にて御護摩修行、精進料理

14:00～ 成田市長挨拶

14:05～16:30

落語会（桂右女助、柳屋寿伴）

ピアノ三重奏（三戸素子、小澤洋介、高田匡隆）

※途中、骨髓提供者並びに元患者さんのミニトークあり

チケット：一般2,500円、学生1,000円、精進料理：1,500円

成田公園の紅葉



会費納入のお願い

千葉骨髓バンク推進連絡会は、皆様からの会費とご寄付で運営しています。

皆様のご支援とご協力をお願い致します。

年会費；3,000円（学生1,000円）

振替口座名 千葉骨髓バンク推進連絡会

口座番号 00160-6-547168

※毎月開催している定例会に持参していただいても結構です。もちろん定例会出席も歓迎です。

登録会報告

船橋献血ルーム フェイス 6月13(水) 説明員：北村美、山口

ルーム入口と受付に「本日骨髄バンク登録会実施中」の表示があり、駅から向かう途中には幟を立てて広報して下さっていました。ロッカーには「骨髄バンクドナー登録受付中」と貼られていました。更に受付タブレットにも同じ文言を貼付して下さいました。医師の問診に案内する前や受付でも時折声をかけて頂いてありがたかったです。

10時スタートした時は人が殆ど来なかったので、どうなるかと思いましたが、11時過ぎから来所する人が増えてきました。ルーム入口付近でギフトオブライフをお渡ししながら声をかけ、聞いてくれた方々が登録されました。11時台に3名登録。14時の午後のスタート時に多くの方がみえて3名登録と時間が集中しました。最後に17時前に1名登録され、7名となりました。

最後に登録された方は血圧が低く、水分を摂って再度測定し、登録、献血もできました。今日は人が多い時間帯に集中したので、2人体制で良かったと思いました。(北村美)



野田市役所 6月29日(金) 説明員：柴谷

登録者5名、説明受講者3名の結果でした。野田市役所では、会場はいつも会議室でしたが今回初めて屋外テントでの実施(会議室取れず)でした。当日は強風でテントが吹き飛ばされそうになり庁舎軒下に移動しましたが、机の上に物を置くとすぐに飛ばされてしまい危険とのことで役所の方から屋内へとの話が入り、エレベーター前の狭いフロアに引っ越したのが11時ごろでした。昼休みに日赤さんがレイアウトを変更されました。受付と登録の机がびったりと付いたのは初めてでした。献血会場が2~3回と移動したのも長いこと説明員として初めての経験でした。日赤さんが「バンクさん狭くてすみませんね」と全員の方が折をみて声を掛けてくれました。

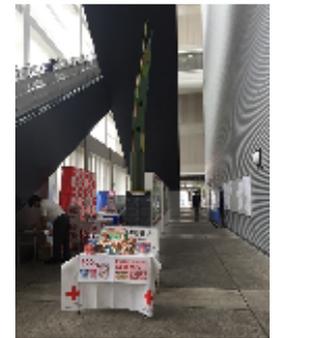
午後2時半過ぎに市の職員さんが続々見えました。混んでいて受付後問診のバスに入りきれない方に「待っている間に説明いかがですか」と声掛けし、説明後登録して頂いた方もいました。初めて献血した女性が200ml献血後気分を悪くされたため、しばらく先生が休憩所で介抱されていました。そのため問診が滞り5~6名が時間切れで献血をお断りしたそうです。



東京理科大学野田校舎 7月5日(木) 説明員：尾木

登録者1名、説明受講者2名の結果でした。東武野田線運河駅下車、献血、登録会場は大学の講義棟の1階で、7階まで続く巨大エスカレーター下で学生さんの左右入口からの通路になっている場所でした。横長にセッティングされ、献血受付とバンク登録そして医師問診は凄く近く横並びとなりました。

大学の掲示板と献血受付記入台(日赤)の横を学生さんが講義室へ黙々と向かって行く様子に真面目な校風を感じるも、残念なことに献血には無関心?さも少し感じました。午前に男子学生さんが登録してくれましたが、その後日赤さんの声掛けがあるも親に相談しますと言う学生さんが続き、同じ問かけの言葉が多いので担当者さんもお疲れの様子でした。初めてのバンク登録会でしたので、今後に期待したいと思います。



登録会報告	6月	登録者(人)	説明受講者(人)	説明員
フルルガーデン八千代	2日(土)	2	2	山本栄
イオンア店	10日(日)	1	1	柴谷みち子
JR新浦安駅前	10日(日)	6	1	尾木成子
船橋献血ルームフェイス	13日(水)	7	1	北村美和子
柏ルーム	16日(土)	8	2	北村美和子 河口郁子
イオンモール幕張新都心	17日(日)	4	4	石橋和記
津田沼献血ルーム	19日(火)	8	0	北村美和子
流山市役所	21日(木)	4	2	柴谷みち子
JR新浦安駅前	21日(木)	6	0	西島隆史
モレールちば駅献血ルーム	21日(木)	6	3	円東克典 久永幸子
イオンモール木更津	23日(土)	4	4	西島隆史 西島一恵
イオンタウン野田七光台	24日(日)	2	2	河口郁子
イオンモール木更津	24日(日)	2	1	円東克典 山本栄
松戸献血ルーム	28日(木)	4	1	柴谷みち子
野田市役所	29日(金)	5	3	柴谷みち子
千葉市役所	29日(金)	2	2	北村美和子 志田和子
フルルガーデン八千代	30日(土)	1	2	円東克典
合計		72	31	

登録会報告	7月	登録者(人)	説明受講者(人)	説明員
いすみ市大原保健センター	4日(水)	5	3	北村美和子 円東克典
睦沢町農村環境改善センター	4日(水)	5	1	久永幸子
日大生産工学部	5日(木)	1	5	山本栄
東京理科大学野田校舎	5日(木)	1	2	尾木成子
浦安市役所	6日(金)	5	1	西島隆史 西島一恵
イオンタウン館山	8日(日)	1	4	西島隆史 西島一恵
千葉大学	10日(火)	6	3	北村美和子 北村勉
千葉工大津田沼キャンパス	11日(水)	2	2	山口智子
住友化学 袖ヶ浦	11日(水)	2	0	西島隆史
住友化学 姉ヶ崎	11日(水)	1	2	西島一恵
千葉大学	11日(水)	4	4	山本栄
千葉商科大	12日(木)	0	2	志田和子
千葉大学	12日(木)	1	6	円東克典
千葉工大新習志野キャン	13日(金)	5	1	山口智子
千葉商科大	13日(金)	1	9	柴谷みち子
千葉大学	13日(金)	12	3	北村美和子 北村勉
千葉工大新習志野キャン	17日(火)	1	3	山本栄
医進市役所	17日(火)	5	2	北村美和子 円東克典
君津市保健センター	18日(水)	7	1	西島隆史 西島一恵
船橋フェイス献血ルーム	18日(水)	4	4	柴谷みち子 円東克典
東邦大学	19日(木)	7	5	尾木成子
国際武道大学	19日(木)	1	3	円東克典
市原市役所	20日(金)	4	1	西島隆史 西島一恵
モレールちば駅ルーム	20日(金)	5	4	山本栄 溝口理文
柏献血ルーム	21日(土)	4	2	北村美和子
イオンタウン館山	22日(日)	3	1	柴谷みち子
松戸献血ルーム	24日(日)	3	1	円東克典
香取市小見川支所	25日(水)	0	2	山本栄
茨城県中央公民館	25日(水)	4	0	北村美和子 久永幸子
津田沼献血ルーム	25日(水)	4	2	柴谷みち子
横芝光町民会館	26日(木)	4	3	久永幸子
成田市役所	26日(木)	3	3	志田和子 円東克典
南房総市役所 別館	31日(火)	1	1	円東克典
合計		112	86	

ドナーサポートダイヤル

0120-892-106

ドナーさんが移植に向けての不安に対応します。

(認定特定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

全国骨髓バンクボランティアの集い in 東京 6月9日(土)

日赤本社でのボランティアの集いには、昨年に引き続き2回目の参加となりました。今年のシンポジウムのテーマは、「病気は克服できたけど～その後続く長い人生」でした。私も骨髓バンクを介しての移植後12年を経過したことから、非常に興味深いテーマでした。

パネリストの皆さんからのお話は、同じ経験をした者として共感できる内容であり、私と同じような不安を抱えての人生であることを感じました。また、最後のMUSIC IS LIFEでは、歌手のERIKOさんが登場し、闘病を経て元気になった歌声に会場は魅了されました。

当日は、ドナー経験者も大勢参加されており、現在もボランティア活動にご協力をいただいていることに感謝し、会場を離れました。(石橋)



全国協議会 総会、代表者会議 6月10日(日)

全国骨髓バンク推進連絡協議会の2018年度通常総会と代表者会議が港勤労福祉会館にて開催され、千葉の会からは梅田会長と北村が参加しました。

通常総会では①2017年度事業報告、②決算報告及び監査報告、③2018年度事業計画、④予算案、⑤定款の1部変更、の5議案の説明があり、議案はすべて承認されました。2017年度事業報告と2018年度事業計画は、当会梅田会長が全国協議会副理事長として説明されました。

総会後行われた全国代表者会議では、田中理事長より、「賛助会費・寄付金の関与団体への活動助成制度について」「啓発グッズの価格統一、申請による活動支援制度について」「協力会員制度の創設、役員選考方法の改正について」説明がありました。又、参加21団体の活動報告があり、「登録会現場での担当者の対応の違い」等、多くの県で同じ課題を抱えながら登録推進に取り組んでいる様子をお聞きいたしました。

当会からは前年度200回を超える献血併行登録会で1,440名の登録者があった事、パネル展等の普及啓発活動、「コンサートと落語会」の開催、ケア帽子製作プロジェクトで患者支援に取り組んでいる事など報告いたしました。(北村美)



千葉県内のドナー助成制度導入状況

◆君津市のドナー助成制度導入(君津市役所 保健福祉部健康づくり課 管理調整係長 伊藤拓郎)

君津市では、平成30年4月1日から、千葉県のドナー支援事業補助制度を活用して「骨髓移植ドナー支援事業」を開始しました。

本事業は、公益財団法人日本骨髓バンクの実施する骨髓バンク事業において、提供者となったドナー及びドナーの勤務する事業所に対し助成金を交付することにより、骨髓・末梢血幹細胞の移植の推進及びドナー登録の増加を図ることを目的としております。

助成金額は、提供者であるドナーに対しては、入院等1日につき2万円、ドナーの勤務する事業所は、ドナーに与えたドナー休暇の日数1日につき1万円を助成いたします。上限は両者とも7日間分です。

事業のきっかけは、事業の整備について市議会への請願をいただいたことです。請願をとおして、市議会を初め多くの方々の理解を得たことで、速やかな整備と開始が叶いました。また、千葉骨髓バンク推進連絡会の皆さまには、様々なお力添えをいただき、ありがとうございました。

事業は始まったばかりですが、骨髓・末梢血幹細胞の移植の推進及びドナー登録の増加に向けて、運営と周知に努めてまいります。

◆市原市のドナー助成制度導入(市原市役所 保健福祉課 斎藤)

市原市では平成30年4月1日から、ドナー助成制度を始めました。市内には800名を超えるドナー登録をされている方がいらっしゃいますので、制度を活用していただき、ドナーの方々のご負担の軽減と、移植を待つ患者の皆様の助けとなりますよう、制度の周知を図ってきたいと考えています。

ドナー 2万円×7日まで

ドナーを雇用する事業所 1万円×7日まで

(平成30年5月31日現在、1名の方が助成制度を利用しております)

◆野田市のドナー助成制度導入(野田市保健センター 健康増進係 長濱恵美子)

野田市で骨髓移植のドナー支援を開始。平成30年4月から提供者と事業所に一人につき最大21万円を助成
骨髓・末梢血幹細胞移植は、白血病などの血液の病気を治すための有効な治療法であります。毎年約1万人の方が白血病など重い血液の病気が診断され、2,000人以上の方が骨髓・末梢血幹細胞移植を必要としています。しかし、患者とドナーの白血球の型が適合しない場合や、適合してもドナーの都合がつかないなどの理由でコーディネートを進められず、移植を受けられる患者は約6割にすぎないと言われております。

野田市では、骨髓・末梢血幹細胞移植の促進とドナー登録の増加を図ることを目的に、平成30年4月からドナーとドナーが従事する事業所に対して助成金の交付を開始しました。

●対象者

①骨髓を提供したドナー

②①の従業員に特別休暇(ドナー休暇)を与えた事業所等

●期待する効果

①ドナー登録の増加と経済的理由での終了者(候補となっても骨髓等の提供に至らなかった者)の減少

②休みやすい環境整備(職場の理解)

●助成金の額

①ドナー:入院1日当たり20,000円(7日間を上限とする)

②事業所:入院1日当たり10,000円(7日間を上限とする)

日本骨髄バンクと千葉県の登録者数最新情報 (2018年6月末現在)

	全国 (累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県 (累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	487,056	+2,144	+12,871	15,006	+137	+831
累計患者登録者数	54,054	+466	+2,706	2,097	+16	+102
累計移植例数	22,087	+202	+1,218	704	+9	+47

白血病闘病記① ～発病 そして無菌室へ～ 北村 勉

白血病の治療はとても辛いものです。長期入院、痛い検査、辛い抗がん剤投与、造血幹細胞移植、その後のGVHD などなど。私の発病は平成24年12月、再発が平成29年4月。2回とも骨髄バンクによるドナー提供で命を救われました。今はお二人のドナーさんに感謝の毎日です。

最初の移植は平成25年7月でした。移植の3週間前に四人部屋から無菌室に移動となりました。無菌室は外の景色も見え、照明も明るく、思ったより閉塞感はありませんでした。検査や点滴の交換で看護師さんも医師も頻繁に来てくれるので寂しい思いもなく、色々とお話もでき、辛い治療も頑張ろうと励まして頂きました。妻も毎日、水のペットボトルや日用品の差し入れに来ては、グツタリしている私に元気をくれました。妻も毎日毎日大変だったと思います。移植1週間前から前処置が始まりました。抗癌剤の投与を行い、それに伴い高熱や下痢、嘔吐と色々な症状が現れます。驚いたのは無菌室に移っても毎日、理学療法士の先生が来られ、体操をしたことです。ぐったりしている時も毎日少しでも体を動かし、体力が落ちないようにサポートしてくれていました。

こいこいの 宇宙と地球の随想記 2ND シーズン「風の巻」 第3回 雲のいろいろ ～上に伸びる雲、横に広がる雲～

皆さんは、雲の中に入ったことがありますか。高い山に登ると、霧に包まれることがよくありますが、これこそが雲の正体です。雲は、目に見えないほどの小さな水滴の集まりで、さらに高い所では水滴が氷の結晶になっています。雲はどのようにできて、どのように雨を降らせるのでしょうか。

夏の雲は、もくもくとわき上がって、やがて激しい雨や雷をもたらします。この雲は入道雲(積乱雲)と呼ばれ、上に伸びていく雲です。暖められて上昇していく空気に含まれる水蒸気は、次第に集まって雲の粒になります。雲ができて始めると上昇気流はなお強くなり、1万mをこえる高さまで湧き上がります。一方、横に広がる雲もあります。夏の強い日差しが和らぐ頃になると、空一面にうろこ雲(巻積雲)やすじ雲(巻雲)が広がり、空が高く感じられます。梅雨や秋の長雨の時期に雨を降らせるのは雨雲(乱層雲)です。雲の中の氷の結晶が大きくなると落ちてきて、それが融けて雨となるのです。

雲は雨を降らせるだけでなく、季節ごとの自然の表情を作り出します。大陸の縁にあって四季の変化に富む日本。雲を眺めながら、ダイナミックな大気の動きを想像してみてください。(H.K.)



山崎さんイラスト

今後(8~9月)の予定(お知らせ)

ドナー登録会

- ・柏献血ルーム 8月10日(金)
- ・JR新浦安 8月12日(日)
- ・フルガーデン八千代 8月13日(月)
- ・千葉県庁 8月14・15・16日(木)
- ・富津市役所 8月16日(木)
- ・ユニモちはら台 8月18日(土) 19日(日)
- ・旭市保健センター 8月21日(火)
- ・船橋献血ルームフェイス 8月21日(火)
- ・松戸献血ルーム 8月22日(水)
- ・津田沼献血ルーム 8月23日(木)
- ・四街道市役所 8月24日(金)
- ・香取市佐原中央公民館 8月24日(金)
- ・イオンモール千葉ニュータウン 8月26日(日)
- ・袖ヶ浦市保健センター 8月28日(火)
- ・銚子市保健センター 8月28日(火)
- ・白子町役場 8月29日(水)
- ・モノレールちば駅献血ルーム 8月29日(水)

イベント

- ・「いのちの輝き展」大網白里市役所 8月6日(月)~10日(金)
- ・幸せの黄色いレシートキャンペーン 8月11日(土)
- ・「いのちの輝き展」九十九里町公民館 9月11日(火)~17日(祝月)
- ・日本骨髄バンク全国大会(大津市) 9月15日(土)
- ・「いのちの輝き展」茂原市立図書館 9月21日(金)~27日(木)
- ・モラロジー学習フェスタ 9月30日(日)

定例会

日時 9月2日(日)、10月7日(日) 14時00分~
場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム

こころからのご寄付、ありがとうございます。

遠藤 信行様 17,000円

患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2, 4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

(認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

<編集後記>

小中学校の同級生のお子さんが白血病を罹患され、改めて身近の誰でも発症する可能性のある病気であると認識しました。昔と違い現在は不治の病でなくなったことは幸いですが、大変な病であることには変わりありません。しっかりとサポートして行きたいと思います。

先日読売、産経新聞に「iPS血血小板 量産(1000億個)成功」の記事が出ていました。血液疾患の患者さんには夢のような内容です。その他にもiPS細胞は心筋梗塞治療、加齢黄斑変性治療等にも希望を与えています。早く実現すると良いですね。(梅田)